



友達と、その注意から逃げようと思わず駆け出してしまふ本人のようすが目に浮かびます。

■何を優先させるのがいいか…

この登校時間にどんな力をつけたいか、何を優先させるかを考えてみましょう。1年生として、一人でまっすぐ学校まで行くことができるようにしたいのか、友達と一緒に歩くことができるようにさせたいのか。さてどちらでしょう。

もし、安全に、まっすぐ学校に行くことができるようにすることをめざすのなら、友達と一緒に連れ立って登校することは、もう少し先に延ばしたほうがいいと思います。

■まずは一人で安全に登校できるように

お子さんは登校の道順は覚えましたか。危険なところをお子さんと一緒に確認し、その部分はどうのように歩くといいか具体的に教えましょう（たとえば、「線の中を歩く」「信号が変わるまではここに立って待つ」「ここでは、荷物は右側に持つ」等）。そして、その練習のときに、途中でしゃがみこんだり、道端のものに気持ちを奪われたりしないで、まっすぐ目的地まで歩くことができたら合格であることを話してください。また、途中で友達に会ったときは、「おはよう」と声をかけること、で

先生、相談です。

学校生活編

小1

男子

自閉症スペクトラム

通常の学級に在籍

1 登校時、迎えに来てくれる友達と一緒に歩けません

毎朝、友達を迎えに来てくれますが、うちの子は、ゆっくり歩いたり急に走ったりして一緒に歩けないので、友達に迷惑をかけているようです。心配なので学校まで送って行ったほうがいいのでしょうか。せっかく友達を迎えに来てくれるのだから、親が出ないほうがいいのでしょうか。

■ほかの人と合わせるのは苦手

友達と一緒にペースを合わせて歩いたり、一緒に会話しながら歩いたりするのが苦手そうですね。自閉症スペクトラムの子どもは、マイペースなので友達と合わせて歩くのが苦手だし、特定のものに反応するため行動が突飛になることもあるでしょう。興味関心が偏っているので、友達の話の内容に関心をもつことも足りないかもしれません。自分の言いたいことを一方的に言って会話がスムーズにならないこともあるでしょう。

「早く歩いて」「遅いよ」「待って！ 先に行っちゃダメ」と一生懸命注意をする



も追いかけてりせずに一人で行くことがうまくいく方法であることも。

■次は相手にペースを合わせる練習

一人登校を開始したら、離れて後ろからついて行くなどしてときどきお子さんの歩き方をチェックしましょう。平日が無理なときは、休日を利用して、学校まで散歩するつもりで出かけるのもいいかもしれません。

一人で一定のペースで歩くことができるようになったら、次は、お出かけしたときに、保護者から離れないで、ペースを合わせて歩くことができるように練習しておきます。この練習が、お友達と一緒に登校するときに役に立ちます。

■友達との登校を優先させるなら大人が調整を

はじめからお友達と一緒に登校させたいと考えるのなら、しばらくは、大人と一緒に付き添うことも必要でしょう。学年が上の児童でも、お子さんの行動を上手にコントロールすることは難しいからです。結局、過剰な注意や不適切な対応によって間違った行動を学習することになりかねないので、大人が間に入って、調整します。この場合、「みんなと一緒にだよ」「○ちゃんの隣を歩くよ」などのような具体的な声かけによって、一緒に登校する子どもたちの動きを意識するようにさせます。

■あわてず、ゆっくゆ

しかし、このように大人があいだに入って調整しても、なかなか一緒に行動することが難しいと感じた場合は、一人登校に変更することも必要かと思えます。

登下校は、危険を伴う場面です。友達関係をつくるのはこの場面だけではありません。あわてず、ゆっくり進めていくようにしましょう。